

県立勝田中等教育学校【総合的な探究の時間計画】(令和8年度)

学校の教育目標

<p>グローバルな視野と起業家精神を兼ね備え、自ら人生を切り拓くとともに、「地域」と「世界」をつないで地域創生に貢献するグローバルリーダーを育成する学校</p> <p>&lt;育てたい生徒像&gt;</p> <p>1. 主体的な学びを通して、知識・技能を活用することができる生徒    2. 探究的な姿勢で、新たな創造をすることができる生徒</p> <p>3. 豊かな人間性にあふれ、多様な人々と協働することができる生徒    4. 個々の夢の実現に向けて、挑戦し続けることができる生徒</p>
---

総合的な学習の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。</li> <li>主体的な学びを実践するとともに、自発的な学習習慣が定着している生徒。</li> <li>授業において他者の考えを尊重し、自分の考えと照らし合わせてお互いの考えを統合でき、自分たちで考えた主張を適切に表現し、学びの深化に貢献できる生徒。</li> </ul> <p><b>【育成する資質・能力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。</li> <li>実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</li> <li>探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</li> <li>様々な人々と協働しようとするリーダーシップやコミュニケーション能力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究の過程で必要となる基本的な知識や技能を習得できているか。 (例) 月などのまとまりごとに収集した情報などをまとめたレポートを提出させる。</li> <li>探究において、自分の考えを効果的に表現しながら、多くの異なる価値観をもつ人々と協働することができるか。 (例) 授業中の様子を観察する。</li> <li>探究において、整合性や効果性、焦点化などを意識した質の高い研究ができているか。 (例) 中間報告や最終発表などにおけるプレゼンテーションやレポートを評価する。</li> <li>探究の過程を通して、課題の発見や解決に向けて自律的に取り組み、社会に参画しようとする態度が見られるか。 (例) フィールドワークや外部訪問などの体験ごとにレポートを提出させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体的障害の不利にならないよう、多面的な評価を行う。</li> <li>情緒面に配慮の必要な生徒の場合は、実際に取り組むことができた内容を、本人の実情に合わせて評価する。</li> </ul>

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
4年	<p>【前期】グループごとに探究テーマを決定し、研究方法を討議する。</p> <p>【後期】基本的な知識・技能を習得し、研究成果を発表する。</p> <p>【その他の活動】研究者や起業家などの体験談・講演を聞き、探究することの意義や楽しさを学ぶとともに、研究や発明、ビジネスがどのように社会改善へつながるか考える。ICT機器による情報収集や整理・分析に必要な基本的なスキル、情報収集の仕方、ディスカッション時に必要な意見の分析法などを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来探究室の設置とサポート体制(各年次担当者が中心となった指導計画の考案)。</li> <li>企業や大学の研究者を招聘しての講演や座談会の実施。</li> <li>近隣大学および業務提携団体と協力した、大学生ティーチングアシスタントの招聘。</li> <li>近隣企業、自治体、大学研究室と連携し、助言をもらえる体制の構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的なプレゼンテーションの技法を身に付けた生徒。</li> <li>ペアやグループで協力して話し合い、多様な価値観を認め合うコミュニケーション能力を身に付けた生徒。</li> <li>自己の在り方生き方を考え、よりよい社会を実現しようとする態度を養った生徒。</li> </ul>
5年	<p>【前期】個人で探究テーマを決定し、研究方法を討議する。【中間発表】中間発表を行い、より社会的・高度な探究活動例に触れることで、自分の研究の質を高める。</p> <p>【後期】中間発表で得た助言をもとに探究テーマを深める。</p> <p>【その他の活動】過去の研究などのリサーチに必要な技法や、取材・分析の仕方を学ぶ。優れたプレゼンテーション例を見て、効果的な表現・発表ができるようにする。海外の生徒との交流等を通して、多様な価値観をもつ人々との協働を体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来探究室によるサポート、企業・大学の研究者や大学生ティーチングアシスタントの活用。</li> <li>近隣企業、自治体、大学研究室等との連携・助言体制。</li> <li>海外の生徒との交流機会の確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究者や起業家などの体験談から、探究することの意義や楽しさを学んだ生徒。</li> <li>外国語を活用することを通して、異なる culture や言語をもつ多様な人々と協働しようとする態度を養った生徒。</li> </ul>
6年	<p>【前期】2年次(5年次)までの課題研究を振り返り、これから学びたいことを論文にまとめる。オープンキャンパスに参加するなど、大学研究・学問研究を進める。</p> <p>【後期】志望大学を決定し、志望理由書を完成させる。また、将来設計レポートを作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各大学(オープンキャンパス等)や高等教育機関との連携。</li> <li>未来探究室および年次団による進路・探究統合指導体制。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年次までに探究した内容について、総合的にまとめることができる生徒。</li> <li>自らの課題意識と大学での学びを結びつけ、主体的に学ぼうとする態度を養った生徒。</li> </ul>